

平成26年度 阿賀野市道徳・特別活動部 活動報告

部長 加藤 千恵

1 研究主題

「豊かな心を育て、実践力を高める道徳の指導」（特活的内容を含む）

2 研究の概要

- (1) 4月22日（火） 組織の構成、役割分担、事業計画の作成
- (2) 6月10日（火） 講演会（特別活動）
- (3) 11月25日（火） 研究授業公開、協議会（道徳）

3 研究の実際

講演会 6月10日（火） 会場 笹岡小学校

演題 「よりよい生活と人間関係を築く学級会の指導」

講師 阿賀野市立笹岡小学校 校長 本間 正人 様

〈講演会資料目次〉

- 1 特別活動いつやるの？今でしょ
今ほど、特別活動（学級活動）が必要な時はない。
- 2 特別活動はこう変わった（学習指導要領全面実施4年目）
- 3 特別活動の目標と各活動・学校行事の目標
- 4 学級活動について
 - (1) 学級活動の内容
 - (2) 学級活動の活動過程
 - (3) 学級活動「学級や学校の生活づくり」
 - ・学級づくりの構想を
 - ・学級チェック（教師用）
 - ・アンケート（児童用）



〈講演内容〉

- ・ 学力向上が最重要課題とされている今だからこそ、安心・安定した生活を送れなければ学力が上がるはずがない。特別活動で安心・安定した学級づくりを。
- ・ 児童生徒の問題解決力の低下や指示待ち傾向が見られ、子どもが育っていないように感じる。これらは解決する芽を摘んでいる大人の責任である。重大ないじめ問題などは別にして、問題解決力を育てる必要がある。
- ・ 学習指導要領の改訂により、道徳や総合的な学習の時間との関連をはかる指導の必要性が増している。
- ・ 学級づくりの構想を担任がしっかりともち、子どもたちに「学級をつくっていくのは自分たちだ」という意識をもたせる活動を仕組むことが大切である。
(学級で話し合っって学級目標を決めること、学級目標を作成し掲示すること、行事や題材終了後の評価で子ども・学級の成長を実感させることなど。)

4 成果と課題

2回の活動のうちの1回目を特別活動にすることで、道徳と関連した特別活動の指導方法を学ぶことができた。また、6月に特別活動について研修をしたことで、実際に今年度の学級づくりに役立てることができた。限られた日程ではあるが、今後も特別活動の研修を取り入れ、充実した研修を進めていきたい。